

六 交渉中ノ傳給手當ハコレヲ支給スルコト

(尙第三項ノ金一封ハ金六百圓、其ノ外ニ適當時ニ勤務者ノ家族ノ慰勞會ヲ重役側手當中ヨリ支出舉行ノコト。トナリ居ル模様。、組合側發表ニ依ル。)

調停者 大貫三重縣特高課長

近藤四日市警察署長

爭議概要

伊勢電氣鐵道株式會社前社長藤澤一衛氏ヲ中心トスル幹部重役ノ後退後債權者側(興銀ヲ主力トシ)代表トシテ數年前興銀系代表半田實氏事務取締役トシテ東任以來、會社實權者トシテ(社長ヲ置カズ) ヌル困難ト追害ニ抗シツ、債務社新整備ニ専念シアリタルモノナリガ、半田事務ハ債務整理ト併行シ關西急行電鐵(名古屋乘入レ)ノ創立ヲナス等苦心ノ末、遂ニ伊勢電ノ

更生ハ(大阪) 參宮急行電鐵ト合併スルヲ最善ノ方途ナリトシ兩社折衝ノ結果本年三月合併原案作成取組メ成リ、次イテ六月二十二日合併本契約締結、七月十一日兩者各別債權者會(伊勢電、四日市、本社、參宮、大阪本社)ニ於テ合併案可決ヲ見、九月十五日ヲ期シテ、伊勢電ハ其ノ債權債務事業ノ全部ヲ舉ゲテ參宮急行電鐵ニ合併セラル、コト、ナリタルモノナリ。

然ルニ合併案中重役後職員一同ニ對スル解散手當三十五萬圓ガ可決サレタル爲、該金員三十五萬圓ノ分配、後職員合併後ノ身分保障、合併ニ際シ昇給ヲナシ合併サレタキコト(六ヶ年間無昇給ナリシナリ)ノ三項ヲ主眼トスル數額ガ後職員側ヨリ生起シ來リ、本問題起點トシテ今回ノ爭議ハ發生ヲ見タルナリ。シカモ本爭議ノ特徵ハ、昨年八月、十一月ノ兩回ニ亘リ愛知縣豊橋市ヲ中心トスル愛國労働會議(純正日本主義)豊川鐵道株式會社等顯ト形式ヲ預キ同クシ伊勢鐵後職員ガ短